

2025年2月20日

# スクラム・ジャパン・プログラム助成金手引き

## 2025年度版

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会



# はじめに

日頃、ラグビー普及育成活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（JRFU）が策定しました「JAPAN RUGBY 中期戦略計画 2021-2024」において、「誰でも、いつでも、どこでも楽しめるラグビー社会をつくる」という目標を掲げております。この目標達成を支える普及育成活動の多くは、三支部協会をはじめ、都道府県ラグビー協会様、市区町村ラグビー協会様や各協会に所属する関係者皆さまによる諸活動運営、事業の計画と実施により成り立っております。

JRFUでは、皆さま方の活動にスクラム・ジャパン・プログラムを活用して頂くことによって、事業費の助成や情報発信のサポート等を通して、現在の普及育成活動を少しでも効果的に推進できるように協力するとともに、資金ご活用機会を通じて、より多くの地域ラグビー協会様とコミュニケーションを図り、様々な課題解決にもつなげたいと考えております。

スクラム・ジャパン・プログラムはラグビー普及育成活動に資することを目的とした協賛会員制度として2014年に創設され、これまで多くの民間企業様からご支援をいただいております。

全国各地への資金活用という観点から、一度に多くの資金支援はできませんが、皆さまの活動の一助として、ラグビー普及育成事業にご活用ください。

## 『スクラム・ジャパン・プログラム助成金』について

### 1. 目的

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（以下、「日本協会」という。）普及育成部門及び普及育成委員会が担う普及育成活動に関して、三支部協会、都道府県ラグビー協会及び市区町村ラグビー協会（以下、都道府県ラグビー協会と市区町村ラグビー協会を総称して「地域協会」という。）との連携・協力に基づき、地域協会が行う普及育成事業を、より効果的且つ適切に運営することを目的として、日本協会が地域協会に事業運営資金の一部を助成する。

### 2. 助成対象事業

助成対象となる事業は以下のとおりとする。

- (1) 地域協会が主催する（または共催する）ラグビー（タグラグビー含む）大会事業  
※対象年齢は問いません。
- (2) 地域協会が主催する（または共催する）指導者、レフリーの研修会事業  
※但し、資格の取得・更新を伴わないイベント的な普及育成活動として行うもの。
- (3) 地域協会が承認した、地域協会に登録されているチーム・団体（ラグビースクールやチーム等）が行う普及育成事業（申請は地域協会が行う）
- (4) その他、地域協会が行う普及育成事業  
※その他の活用に関しては事前にご相談ください。

### 3. 助成対象となる経費

助成対象となる経費項目は以下のとおりとする。

- (1) 事業を行う会場（グラウンド、控室等）の賃借料
- (2) 運営上のレンタル品（テント、プロジェクターなど）及び消耗品
- (3) レフリー、ドクター他医療関係者等、専門的役割を担う方への謝金
- (4) イベント参加者対象の保険料
- (5) 広報・宣伝費
- (6) 事業運営役員用昼食・飲料代
- (7) 大会参加記念品（総費用の30%以内とする）※例えばTシャツ等を参加者に配布する場合などは、記念品費用が膨らむため、参加費を増額するなどの工夫が必要となる。ボール等備品は含まない。
- (8) 前条（4）の事業に伴う経費 ※詳しくは事前にご相談ください。  
※原則として特定のチーム活動(利益)のみに直接つながる項目（バス代、参加チームへの交通費補助、テーピングなどの消耗品）は認められません。詳しくは事前にご相談ください。

### 4. 助成金について ※主な内容は以下のとおりとする。

- (1) 助成金額 事業1件につき、上限10万円とする。また、1協会あたり、3件まで申請することができる。支出全体に対する助成金額の割合は「初年度75% 2年目50% 3年目25% 4年目25%」とする。同一事業への助成期間については、原則として4年間とし、5年目以降の自走を目指し主催者側と今後の計画について協議する。

- (2) 申請方法 別紙所定の申請様式（申請書及び予算計画）を提出する。
- (3) 提出書類 申請書の提出とは別に実施要領及び詳細が分かる資料を提出する。
- (4) 申請受付 対象事業を行う1ヶ月前を受付期限（厳守）とし、管轄のRDOに提出する。その際、ファイル名とメールの件名は「【協会名】2025SJP 申請・報告書【申請回数：①～④】」とし、協会名・申請回数がわかるようにすること。
- なお、申請書及び予算計画書と内容（プログラムや対象者等）を変更する場合は、実施前に必ず管轄のRDOへ連絡する。変更された内容によっては助成でない場合がある。
- (5) 審査 申請受付後、約2週間で審査と助成金額の決定を行い通知する。
- (6) 活動報告 実施後、2週間以内（厳守）に報告書（実施報告書と会計報告書）を提出する。なお、報告が遅れた場合は助成できない場合がある。※会計手続きに時間がかかり報告が遅れる場合は別途連絡すること。
- (7) 資金決済 報告書受領後、審査を実施し約2ヶ月以内を目途に助成金を交付する。振込先の口座は協会のものに限る（個人名のものには振り込まない）
- (8) その他 ※三支部協会（関東協会、関西協会、九州協会）の助成金と併用することはできない。
- ※原則として、単年度で終わることなく、翌年度以降も継続して開催される事業に対して助成を行う。
- ※安全対策（SAやイベント保険など）を確実に計画すること。
- ※助成金額決定後、事業終了後の支出総額に応じて、総支出額から算出される助成割合により助成金額が減少することはあるが、決定金額を超えて増えることはない。そのため、申請段階で見積もりを取るなど、適切に計画を立てた上で申請書を作成する必要がある。
- ※本助成金のロゴを配布物や参加記念品等に印刷する場合は、事前に管轄のRDOに相談すること。

#### 例：計画

収入 100,000 円、支出 100,000 円（助成金決定額 75,000 円）

助成割合 75%（1年目の上限）

#### 報告

収入 100,000 円、支出 90,000 円（助成金決定額 75,000 円）

助成割合 83%（1年目の上限 75%）

→助成額 67,500 円（1年目の上限 75%）

## 5. 助成金申請の受付に関して

助成金活用の対象事業は2026年3月末までに実施する事業。

なお、助成金額には限りがあるため、上限金額に達した段階で締め切りとする。

※できるだけ、早めの申請をお願い致します。

## 6. スクラム・ジャパン・プログラム活動レポートについて

スクラム・ジャパン・プログラムの価値向上を図り、普及育成活動の支援者拡大につなげるため、実施報告書より活動レポートを作成しております。※地域での特色ある活動は、SJP事務局よりメールにてご連絡させていただき、インタビューを実施させていただく事があります。

### (1) スクラム・ジャパン・プログラムバナーの掲示と写真の提出

活動の見える化として、事業参加者の様子とバナーの写真をご提出願います。

バナーは事前にお送りします。返送費用は助成金の中から負担してください。

また、活動の様子が分かる写真を5枚～10枚、ご提出願います。写真は活動レポートとして、スクラム・ジャパン・プログラムのホームページ及びJRFU関連のSNS等に掲載させていただきますので、予めご承知のうえ、写真のご提出をお願いいたします。



【参考：集合写真の事例（ブランチ大津京ラグビー普及イベントより）】

# スクラム・ジャパン・プログラム助成金各手続きに関するフロー

## 【助成金申請・報告フロー】



### 7. 問合せ・助成金申請受付

普及育成部門 RDO (Regional Development Officer) グループ

E-mail: [jrfu\\_rdo@rugby-japan.or.jp](mailto:jrfu_rdo@rugby-japan.or.jp)

※最初の申請を頂きましたら、担当エリアの RDO よりご連絡させていただきます。